

## 令和 4 年度 墨田区立吾嬬立花中学校 経営報告書

令和 5 年 3 月 8 日

学 校 目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○進んで学び、深く考え、行動できる生徒</li> <li>○誠実で、思いやりのある生徒</li> <li>○自らきたえ、心身ともに健やかな生徒</li> </ul>
目指す学校像	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「寄り添い、共に歩み、喜びを分かち合う学校」</li> <li>○「だれにでもやさしい学校」</li> <li>○「学力向上」を図る授業改善</li> <li>○「自主自律」を育む生活指導</li> <li>○「自尊感情」を育む学校行事・部活動</li> <li>○「地域への愛情」を育む連携行事</li> </ul>
目指す子供像	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習や様々な活動に意欲的に取り組み、目標に向かって努力する生徒</li> <li>○社会のルールを理解し、規範意識を身に付け、社会に貢献しようとする生徒</li> <li>○人の立場を理解し、協調性のある生徒</li> <li>○心身をきたえ、思いやりのある生徒</li> </ul>
目指す教師像	<ul style="list-style-type: none"> <li>○広い視野に立ち、組織的に行動できる教師</li> <li>○互いのコミュニケーションを大切にし、教育目標を達成しようとする教師</li> <li>○研修に励み、自己の授業力向上を目指すとともに、新学習指導要領に対応した授業改善に努力する教師</li> <li>○校内 O J T を日常的に実践し、研鑽に励み、自己の能力と資質の向上に努める教師</li> <li>○UD教育を推進し、生徒一人一人の気持ちを理解しながらどの生徒にも公平に対応できる教師</li> <li>○保護者・地域の願いや思いを理解できる教師</li> <li>○いじめ・暴力・暴言等に対し、不適切な指導や体罰を伴わない毅然とした態度で指導できる教師</li> </ul>

様式 4

1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
各教科等指導	知識・技能を徹底し思考力・判断力・表現力を伸ばす授業【研究推進】	C	区学力調査における経年変化を追っている。平成 31 年度平均偏差 46.5～47 であったが令和 4 年では 47.5～49.5 まで成績が伸びてきている。授業アンケート「知識や技術の取得を徹底する授業」で 80%以上、「学んだことを表現や発表をする授業」で 80%以上の回答を得た。しかし各学力調査では全教科全学年全国平均を超え、DE 層 40%以下にすることはできなかった。今後、家庭学習の充実を図りながら生徒の意欲を引き出す授業改善を実施していきたい。		
	ユニバーサルデザイン教育を取り入れ、どの生徒にとっても分かりやすい授業【研究推進】	B	墨田区教育委員会研究指定校 1 年目の発表会を実施、全員が個人テーマのもと発表を行った。また本校の取組が好事例として都教育庁特別支援教育課の HP にて紹介される予定である。授業アンケートで「わかりやすい授業」、保護者アンケート「特別な支援を必要とする取組」で肯定的意見が 80%以上となった。来年度は研究を通して生徒にとって「やさしい教育」が実践できるよう研究を進めるとともに全員が取り組める「吾立スタンダード」を確立していく。		
	社会的自立に向けた進路指導・キャリア教育・相談活動等【進路】	B	各教科の授業における指導に加え、総合的な学習の時間での職業調べ等のキャリア教育や調べる学習コンクール、特別活動におけるチームビルディングの方法など教育活動全般において生徒の自己決定の場を多く設け、対話的な学びを大切に指導してきた。保護者アンケート「自分の将来に結びつくキャリア教育、進路指導」の項目で 80%以上の肯定的意見をいただいた。アフターコロナ禍における交流や講演、実践を通してキャリア教育の充実を図りたい。		
	教員の指導力・授業力を高めるための、組織的な取組等【研究推進】	B	研究推進を行う中で同じテーマのもと、授業観察を通して意見交換を行う中で指導力、実践力を伸ばしてきた。ユニバーサルデザインの研修を通して体験的な学習、問題解決的な学習について積極的に指導を進めていくことで生徒の論理的思考力や表現力を高めていきたい。		
	主体的な学びと家庭学習の確立【進路指導】	C	家庭学習に関するアンケートで学んだことを定着させるための時間が少ないことが示されている。授業内で主体的、対話的で深い学びの実践をより一層充実させ、家庭学習を含めた学びのサイクルを構築していきたい。家庭学習カードの導入を検討中である。		
	学校関係者評価委員会の意見等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 12 月の作品展の内容がすばらしい。</li> <li>・ 家庭学習の取組を推進してほしい。</li> <li>・ ユニバーサルデザインに関する内容がわかりづらい。</li> <li>・ 学力の DE 層という言葉を外に発することが生徒・保護者にはよくないのではないか。</li> <li>・ 中 1、2 のにおける進路指導の内容がわかりづらい</li> </ul>		

様式 4

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
生活指導等	問題行動の予防や解決に向けた組織的な取組等 【生活指導】	B	いじめ・暴力・暴言等のない環境づくりと情報連携を徹底して行い、年3回生徒アンケートで実態を把握してきた。保護者アンケートでも肯定的意見を80%以上の肯定的意見をいただいている。今後もこの結果に満足せず組織的な取り組みを続けていく。		
	基本的な生活・社会習慣、人間関係作りのための心の教育等 【生活指導】	A	基本的な生活習慣を身につけさせるため、特に「時間、身だしなみ」に重点を置き指導してきた。保護者アンケート「生活指導をしっかりとこなっている」の項目で90%を超える肯定的評価をいただいた。今後も世の中で求められているニーズをつかみながら良好な人間関係を築けるような心作りを行っていく。		
	安全を確保するための取組等 【生活指導】	A	安全指導計画に基づき学校安全の組織的推進と危機回避能力育成を行ってきた。年末に近隣での大規模火災において限られた職員で組織的に対応し、保護者と連携しながら迅速に生徒を家庭に帰すことができた。保護者アンケートでも90%以上の肯定的評価をいただいた。		
	不登校の解消 【生活指導】	C	今年度も保護者を始め、不登校生徒を支援する関係機関と連携を図りながら学校とのつながりが切れなような関係作りを行ってきた。また、登校はできても教室に入ることができない生徒のためにSSルームを開設し、運用を始めた。学校では家庭訪問や放課後等における個別指導などあらゆる方策を考え生徒との関係を築いてきた。しかし不登校生徒削減までは至らなかった。今後、不登校生徒、家庭とのつながりを大切にしていくことに加え、どの生徒にも魅力ある学校づくりを考えていく必要がある。		
	学校関係者評価委員会の意見等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校生徒出現率で目標数値が達成できなかったことは残念だが数値には現れてこない学校の取組がよくわかった。</li> <li>・学校がいじめや暴力について年3回アンケートをとって生徒の状況を把握していることがわかった。</li> <li>・地域で見て生徒の様子から学校が安定していることがわかった。</li> </ul>		

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
学校の管理	経営方針に基づいた、組織的な教育活動・学校運営等 【主幹会】	B	運営委員会や職員会議だけでなく日常的に課題に対する方針や具体的な対応について管理職と教職員で確認してきた。保護者アンケート「教育方針や教育活動をわかりやすく伝えている」の項目で90%近くの肯定的意見をいただいている。今後も学校経営方針の具		

様式 4

運 営			現化に向けて教職員のみならず保護者、地域の方々と対話を続けていく。		
	子供の実態に合わせた教育 目標設定及び評価等 【教務】	C	生徒による授業評価、保護者アンケート等の実施時期が遅く回収率が目標の80%に届かなかった。来年度は実施時期も含めてアンケート方法について改善していく		
	教育環境・設備等の整備状況 等【教務部・生活指導部】	A	施設設備の定期的安全点検の実施と必要箇所の修繕は迅速に行ってきた。また、タブレットやICT機器の充実と活用については全ての教員が活用できるようになっている。保護者アンケート「学校は環境整備を行い、校内美化に努める」の項目ではほぼ100%に近い肯定的評価をいただいている。		
	体罰等服務事故防止 【主幹会】	A	今年度、服務事故案件は一件も起きていない。年3回の服務研修だけでなく日常的な注意喚起をこれからも行っていく。		
	学校関係者評価委員会の意見等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者アンケートの内容を詳しく知りたい。それを評価につなげたい。</li> <li>・生徒アンケートの結果を詳しく知りたい。</li> <li>・学校経営報告に対するアンケートが答えづらい。特に学校の自己評価に対する評議員からの評価がしづらい。</li> <li>・保護者アンケートで答えられないまたはわからない質問が多い。</li> <li>・親子で答えるアンケートの形を導入したらどうか。</li> <li>・服務事故防止の点から体罰アンケートを行っていることがわかった。</li> </ul>		

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
家 庭 ・ 地 域 連 携	教育方針や日常の教育活動の様子などを伝える取組等 【教務】	A	学校だより毎月発行やホームページ、配信メール等による積極的な情報発信を行ってきた。保護者アンケート「学校だより、HP、配信メールが分かりやすい」の項目でも90%を超えることができた。		
	保護者や地域の理解や協力を得た教育活動の推進等 【教務】	B	コロナ禍ではあったができる限りのPTA・育成委員会・学区内小学校との連携強化を行ってきた来年は積極的に活動していきたい。		
	吾立中ブロック小学校3校、幼稚園保育園との連携強化 【教務】	B	学びの連続性を重視した教科連携についてはコロナ禍で推進できなかった。来年度は幼保小中連携の方法を見直しそれぞれの学校・園が連携できる内容を探していきたい。		
	学校関係者評価委員会の意見等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も地域の活動とともに体験的な学習を大切にしてもらいたい。</li> <li>・学校の様子を生徒アンケートや保護者アンケートからつかんでいきたい。</li> </ul>		

様式 4

2 令和 4 年度学校評価のまとめ

以上の通り報告いたします。

墨田区立 \_\_\_\_\_ 学校 校長

公印